

# 高等学校教科「情報」の免許保持教員による複数校指導の手引き

背景	課題
令和4年度から実施される新学習指導要領に基づく高等学校教科「情報」でのプログラミングやデータの活用などの学習内容の充実に伴い、 <b>教員による指導体制のより一層の強化</b> が不可欠。	情報科担当教員の積極的な新規採用や多数の既存の免許所持教員の適正な配置といった本来実施されるべき対策を推進することを前提としつつも、 <b>実効性のある他の対策を検討</b> することも有意義。

対応

そのため、**情報免許所持教員が複数の学校で指導する手法**を取り上げ、その円滑な導入に向けた「手引き」を作成・公表し、取組を促すことで**教科「情報」での教員の指導体制の強化**を図る。



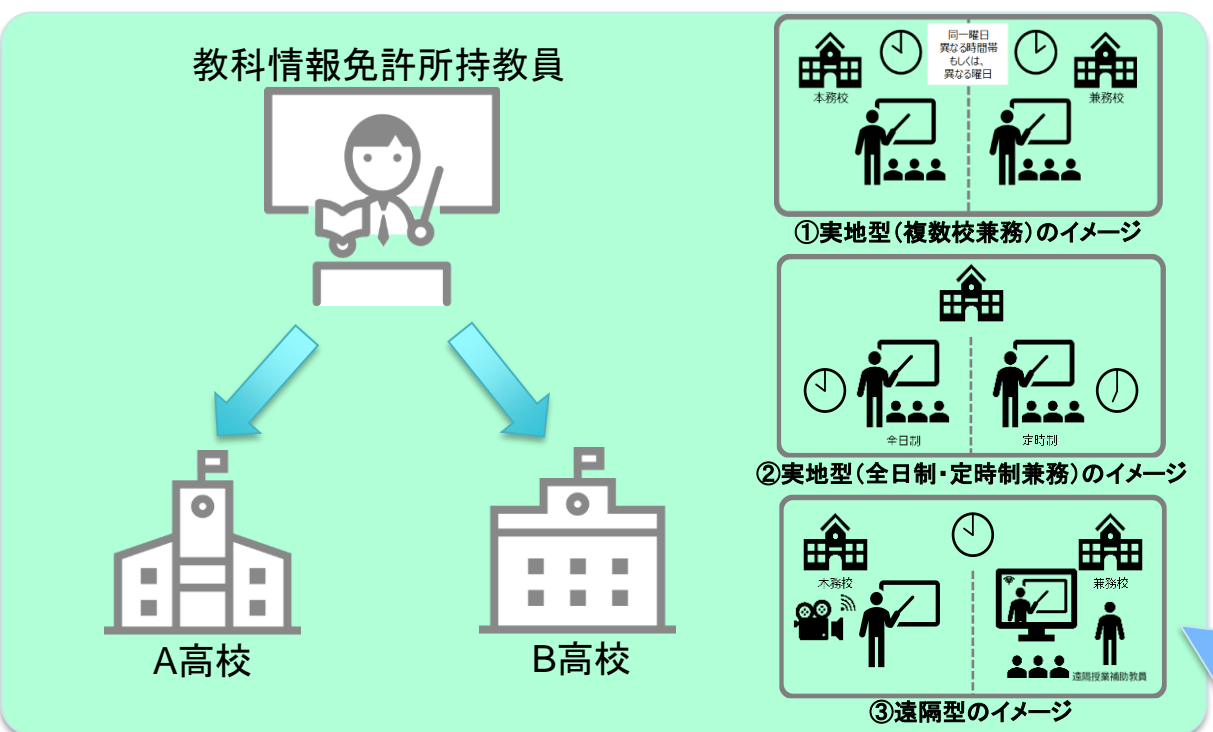
←こちらからご覧ください



＜本手引きについて＞

- ・複数校指導を実施している教育委員会、該当校の学校管理職及び複数校指導担当教員に対して行ったヒアリングの結果を基に指導モデルを提示。
- ・既に複数校指導を実施している自治体の取組事例を掲載。教科「情報」を指導する際の工夫、校務を円滑に進めるための管理職としての工夫等を掲載。

## 本手引書で示す3つの指導形態



- ### 掲載内容
- ◆ 第1章 複数校指導モデルの概要
  - ◆ 第2～4章 複数校指導モデル活用の手引き
    - ① 実地型(複数校兼務)    ② 実地型(全日制・定時制兼務)
    - ③ 遠隔型
  - ◆ 第5章 複数校指導モデルの事例詳細
  - ◆ 参考資料: アンケート結果 (対象: 都道府県教育委員会)



遠隔型での授業風景写真: 配信側(左)、受信側(右)